

寅さん歩 その20

官公庁の食堂めぐり-10 文京区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）が作ったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 5 番の文京区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

〔文京シビックセンター・文京区役所〕

文京区春日町 1-16-21 最寄駅 大江戸線 春日駅（地下直結）

文京区は 1947 年 3 月本郷区と小石川区が合併して誕生。

区名の由来の経緯を文京区役所総務課に確認しました。

「東京新聞」紙上で公募をしたが、決着がつかなかった。

職員からの応募も求め、旧小石川区役所職員提案の「文京」が明るくわかりやすい印象を与え、学問の府とのイメージに合致するという事で旧両区議会で決めたとのこと。

文京シビックセンター(写真右上)は 1994 年文京区公会堂の跡地に高層棟が竣工、1999 年に低層棟も完成して完全竣工。地上 28 階建、地下 4 階で 高さ 142m は東京 23 区の区役所(庁舎単体)で最も高い建物です。文京区役所本庁舎、議会、文京保健所、文京シビックホールが入っています。

文京区に人が住み始めたのは旧石器時代（約 18,000 年前）で区内には多数の遺跡が発見されています。



徳川家康の江戸入府により、徳川家ゆかりの寺社が建てられ、大政奉還後は最後の将軍慶喜も旧小日向(現在の春日)に居住しています。明治時代に入り、徳川家や大名屋敷の広大な敷地は大学・軍用地・商業地に転用されましたが、その一部は歴史ある日本庭園として残されました。文京シビックセンターは小石川後樂園に隣接しています。

〔文京区役所 職員食堂〕

職員食堂は13Fです。のりかえ階なので低層・高層のエレベーター共、止まります。一般の人の利用可です。営業時間は喫茶・軽食は8時30分～17時、昼食は11時～14時30分です。

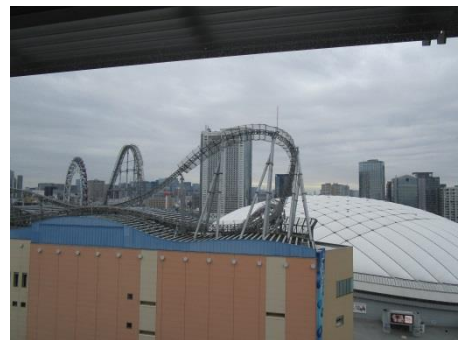
隣の東京ドームシティ アトラクションズ

(旧後樂園ゆうえんち) (写真右) を眺めての食事です。白い屋根は日本初の全天候型多目的スタジアム(東京ドーム)です。

食堂は入口の自販機で食券を買いますが、中のレジでも食券が買える便利なサービスです。

ヘルシーランチ 590円、バリューランチ 590円、サービスセット 560円、ライスフード 500円、ラーメン 450円は日替わりで内容が変わります。他にカレー 390円、カツカレー 550円、そば・うどん 350円～450円。カレーやそば・うどんは大盛りがあります。そば定食(ミニカレー付) 520円、チャーシューメン 450円とメニューは多彩です。

写真下左は日替わりラーメン(皿うどん) 450円、写真下右はサービスセット(焼売と竹輪の磯辺揚げ、ひじき小鉢) 550円です。



〔シビックセンター展望ラウンジ〕

高層用エレベーターで25Fに上がると、展望ラウンジです。入場は無料で小石川後樂園、都庁、富士山、池袋サンシャイン 60、筑波山、

東京大学、上野恩賜公園、東京スカイツリー、東京タワーまでを見渡すことができます。寅次郎の住む大塚のマンションも見えました。

天気が良ければ写真右のような風景(新宿超高層ビル群方面)が見られます。展望ラウンジの開館時間は9時~20時30分です。

又、25Fには「シビックスカイ レストラン 椿山荘」があります。展望ラウンジから欠けている方面の風景が見られます。食事は予約制ですが、空席があれば入ることができます。



ランチは1,130円(特製カレー)~2,000円、予約ランチは3,100円です。ディナーは3,800円、4,800円、6,500円、8,500円です。営業時間は昼11時30分~16時、夜17時~21時30分。夜景を見ながらのディナーはいかがですか。

シビックセンター1Fの文京区観光協会がいただいた「文京観光ガイド」では「湯島・本郷」、「根津・千駄木」、「後楽園・春日」、「小石川」、「白山・本駒込」、「関口・目白台」の6つのエリアに分けて、区内を紹介しています。

又、「文の京 観光ガイドまっぷ おさんぽくん」では「道真公と歩く湯島・本郷」、「千姫と歩く小石川」、「芭蕉と歩く大塚・目白台」、「鴎外と歩く本駒込」の4つのお散歩コースを紹介しています。

「寅さん歩」の文京区紹介は次の通りです。番号は「寅さん歩」の目次番号です。

東京十社の初詣：03、江戸五色不動めぐり：10、江戸の閻魔大王：120
東京発祥之地めぐり：20、21、22、23、東京の富士塚めぐり：25
健康ご利益めぐり：48、49、江戸・東京の祭り：75、87、90、98、99
花の祭り：78、84、96、新しい祭り：107、東京の紅葉・黄葉：82、151、197
東京の桜：08、46、166、167、江戸・東京(23区)の百名山：135、136
お江戸の時の鐘：174、175、東京の学食めぐり：196、198、213、226

文京区の木は「いちろう」、花は「つつじ」です。



[バーチャルウォーク 途中経過]

2018年10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県を経て福岡県に入りました。2019年3月5日現在、スタートから554km地点を通過しました。

ウォーキングでは自然や人との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

〔寅次郎がウォーキングで出会った人ー9〕

～ 不死身で誠実な人でした ～

2003年定年退職後すぐに入会、すぐにスタッフになっていただいた、高杉政利さん(写真右)です。西澤久裕さん(寅次郎の次の第5代FWA会長)とは会社は異なりましたが、仕事やプライベートで40年以上の親交があり、西澤さんに勧められ、入会したそうです。西澤さん、曰く「大変几帳面な方で超正統派を絵にかいたような人で、いつもステディな人」。歩く姿勢が良く、大股でスタスタと歩き、特に上り坂に強いウォーカーでした。

30歳代に胃がんが見つかり、胃を全摘されていたと知り驚きましたが、常に前向きに生き、回復されたという強靱な生命力を持つ不死身な人です。その恐るべき生命力の強さには忘れられない事故の思い出があります。

小田原ツーデーマーチのスタッフで参加した帰りの電車に乗っていた西澤さんの携帯に高杉さんから「家の近くで交通事故に遭った」と連絡がありました。

「今、どうしている？」と聞くと「車の下にいます」と言われ、一緒にいた寅次郎と共に言葉を失いました。同じスタッフとして参加し、一足先に帰った高杉さんは自宅の最寄駅で降り、雨が降り出したので、傘をさして横断歩道を渡っていたところ、右折して来た、寿司屋のミニバンに接触されたとのこと。暗く視界も悪く、高杉さんをさけ損ねたようです。でもミニバンの片側の車輪が縁石に乗り上げ、空間が出来て、その隙間で下敷きになり、擦り傷もなく、奇跡的に助かったとのことでした。

その後は元気に過ごされ、一見こわもての風貌ですが、内面にもつ優しさや誠実さはスタッフや会員から頼りにされていました。寅次郎も信頼できるスタッフの一人としてウォーキング普及業務のリーダーをお願いしました。

残念ながら、がんが再発、入退院を繰り返され、2018年1月16日 74歳で旅立たれました。寅次郎は坐骨神経痛の足の痛みで寝たきり状態でしたので、葬儀に参列出来ず、東京の空からご冥福をお祈りしました。

そして「高杉さんの不死身さを引き継ぎたい」とお願いしました。



次回は バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー7 です。

平野 寅次郎 拜